

# 炭酸ガスレーザーの未知なる可能性！

## ～ 新たな進化を遂げたオペレーター ～

2014年度R&Dの調査報告によると、日本国内では59.5%の歯科医院でレーザーが導入されており、歯周疾患、外科処置、審美歯科への応用と日常臨床の中で幅広く活用され、患者の皆様へも「レーザー治療」が広く知られるようになってまいりました。レーザー治療に対する知識だけではなく、エビデンスに基づく照射方法の技術も近年求められるようになってきております。

そこで弊社では、各分野でご活躍されている3名の講師方に、炭酸ガスレーザーについてご講演いただきます。是非ご参加くださいますよう、心よりお待ちしております。

■ 開催日 **平成27年12月20日（日）**  
**10：00～16：00**

■ 会場 **沖縄産業支援センター 中会議室 302号室**  
那覇市小祿 1831番地 TEL.098-859-6234

■ 定員 40名

■ 受講料 8,000円（昼食込・消費税込）

■ お申込方法 下記申込書に必要事項をご記入いただき、  
(株)ヨシダ沖縄営業所までFAX(098-885-1791)にてお申し込み後、  
下記口座にお振り込みください。入金確認をもって受付と致します。

西日本シティ銀行 赤坂門支店  
普通 1744055 カ) ヨシダ九州支店

※お振込手数料はお客様負担でお願い申し上げます。  
※お振込用紙をもって領収書に代えさせていただきます。  
※ご入金いただきました受講料は返金致しかねますのでご了承ください。

■ お問合せ・お申込先 **株式会社ヨシダ 沖縄営業所 担当：野原**  
**TEL.098-885-1790 FAX.098-885-1791**

主催：  株式会社 **ヨシダ** / 株式会社 吉田製作所



「オペレーター特別講演会」申込書 FAX：098-885-1791 H27.12.20

(ふりがな) 芳名	貴医院住所 〒
貴医院名	TEL. ( ) FAX. ( )
出身校	お取引歯科商店
■レーザー使用経験について（該当にチェックを入れてください） <input type="checkbox"/> 炭酸ガスレーザー [メーカー名： ] <input type="checkbox"/> YAGレーザー <input type="checkbox"/> 半導体 <input type="checkbox"/> 無	
■インプラント治療について（該当にチェックを入れてください） <input type="checkbox"/> していない <input type="checkbox"/> 1～10本/年間 <input type="checkbox"/> 11～20本/年間 <input type="checkbox"/> 21～50本/年間 <input type="checkbox"/> 51本以上/年間	

※弊社では申込書にご記入いただいた情報は、社内で適切な安全対策の元に管理し漏洩等の防止に努めております。お客様の同意なく第三者への開示・提供はいたしません。弊社からのセミナー、サービス、新商品のご案内等に利用させていただく場合がございます。

● タイムスケジュール ●

1. 10:00~12:00 横瀬 敏志 先生
2. 12:00~12:40 <昼食 40分>
3. 12:40~14:00 和田 圭祐 先生
4. 14:00~14:30 <休憩 30分>
5. 14:30~15:50 堀江 和彦 先生
6. 15:50~16:00 <質疑 10分>

横瀬 敏志 先生



城西歯科大学

(明海大学歯学部) 卒業

- ・スペースシャトル  
宇宙開発の為 米国NASAへ派遣
- ・日本レーザー歯学会 評議員
- 日本歯科保存学会 理事
- <現在>明海大学歯学部機能保存回復学講座  
保存治療学分野 教授

これまでに多くの先生から『炭酸ガスレーザーにはエビデンスがあるのか?』『エルビウムとの違いは?』『インプラント治療への応用は?』『照射に際しての留意点は?』等、疑問が寄せられてきた。我々はこれらの疑問に対して、炭酸ガスレーザーの細胞生物学的な作用を分子レベルで検討し、科学的根拠に基づいて答えられるエビデンスを学会、論文に発表してきた。特に骨組織に対して、炭酸ガスレーザーをメカニカルフォースとして捉えWolffの法則に従い、骨組織を再生できることがわかった。そこで私たちはレーザーを新たな骨組織再生療法の一つとしてL.I.B.T. (Laser Induced Bone Therapy) という概念を提案した。本講演では、これまでのデータに加えて新たに骨組織での炭酸ガスレーザーの最新研究結果と、これに基づいた一般臨床での照射方法と注意点を紹介し、炭酸ガスレーザーの可能性について解説します。

和田 圭祐 先生



広島大学歯学部卒業

名古屋大学医学部大学院

(顎顔面外科学) 修了 医学博士

ハーバード大学歯学部大学院

(歯周病学) 修了 医学博士

アメリカ歯周病専門医 取得

アメリカ歯周病学会 (AAP) ボード認定医

ペンシルバニア大学歯学部 歯周病学 助教授

テンブル大学歯学部 歯周病インプラント科 准教授

歯周病専門医プログラム ディレクター

兼任

ペンシルバニア大学歯学部 客員准教授

広島大学歯学部 客員准教授

アメリカにおける歯科レーザー治療の現状

— ペンシルバニア大学歯学部における臨床と研究について —

近年、アメリカではレーザーにおける基礎研究データの蓄積により、臨床でのレーザー治療効果への期待が高まってきている。EBM (根拠に基づく医療) が重要視される中で、レーザーを用いた各種疾患に対する臨床研究も近年さらに活発化してきている。ペンシルバニア大学歯学部歯周病科においても2013年よりレーザーセンターを設置し、歯周病治療、歯周補綴治療、インプラント治療並びにそれに付随した骨再生治療、さらにはインプラント周囲炎などに各種レーザーを応用し、今では治療において最も使用頻度の高いツールの一つとなってきている。

本講演では、1) ペンシルバニア大学での歯周・インプラント治療

2) ペン大歯周科でのレーザーの主な適応症とその使用法

3) レーザー臨床研究の最新トレンド

4) 今後の研究の方向性について

ペンシルバニア大学での、歯周・インプラント治療にスポットを当てながら、各種レーザーを取り入れた新たな治療方法を臨床、研究の経験を交えながらお話ししたい。

堀江歯科医院院長  
歯学博士

堀江 和彦 先生



北九州レーザー

研修センター所長

日本歯科理工学会会員

日本補綴歯科学会会員

日本歯周病学会会員

日本口腔インプラント学会会員

レーザーで広がるこれからの歯科医療

近年、レーザー照射モードを含めた照射術式の改善・向上、また、レーザー照射器の小型化により、治療現場で以前よりも非常に使いやすくなり、医科領域のみならず、歯科領域でも臨床応用が急速に拡大してきているのが現状である。また、1000の1秒から照射可能なスーパーパルス (SP) の搭載によりさらに臨床応用の幅が拡大してきたように思う。

今回、レーザー治療に必要な基礎知識、さらに歯科治療におけるレーザー応用症例について静止画および動画 (ビデオ) で説明・紹介し、私の治療現場でのレーザー照射の臨床応用を、少しでもお役に立てれば、幸いに思います。

